

28pmA-154

植物由来抗腫瘍活性成分の臨床応用のための探索的研究 (5) - ツルモウリンカ地上部について -

○中野 大輔¹, 石塚 賢治², 池田 瑞季¹, 土橋 良太¹, 大川 雅史¹, 田村 和夫², 金城 順英¹ (¹福岡大薬, ²福岡大医)

【目的】我々は植物由来抽出物のライブラリーの中から成人 T 細胞白血病 (Adult T-cell Leukemia/Lymphoma: ATL) 株に対して、選択的な細胞増殖抑制効果や殺細胞効果を持つ抽出物をスクリーニングし、いくつかの有用な植物を見出している。今回スクリーニングで活性を示したツルモウリンカについて活性成分の探索を行ったので報告する。

【方法】ツルモウリンカ (*Tylophora tanakae*) の地上部 (1340g) を MeOH で抽出し、MeOH エキス (215g) を得た。次に AcOEt/Tartaric acid 3% で分配を行い、Tartaric acid 3% 層を中和後更に CHCl₃ で分配し、CHCl₃ 層 (12.5g) を得た。得られた CHCl₃ 層を各種クロマトグラフィーを用いて、単離・精製を行い TT-1~3 と仮称する化合物を得た。

【結果・考察】TT-1 と TT-3 は各種 NMR スペクトルと文献を比較し、それぞれ Phenanthroindolizidine Alkaloids (PIA) の 3-Demethyl-14 α -hydroxyisotylocrebrine、Tylophorinine N-oxide と推定した。また TT-2 も NMR スペクトルより同様の PIA と推定した。造血器腫瘍細胞株 (MT-1, MT-2) に対する細胞増殖抑制活性を検討したところ、PIA 類には強い腫瘍細胞増殖抑制活性があることが示唆された。

